



家庭学習のすゝめ



2018, 4, 9 No.3 稚内中央小学校



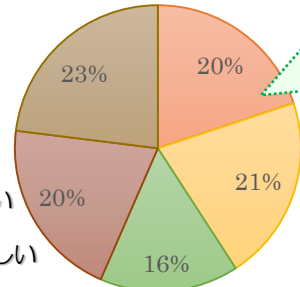
新学期が始まりました。新しい教室、新しい先生、そして新しい教科書…。弾む気持ちで学習に取り組む子どもたち、ご家庭での様子はごどうでしょうか？

…「学年が進むとどんどん勉強が難しくなるから心配。」という声も聞こえてきそうですが、新しい学年の学習は「前の学年まで」の学習の上に積み上がっていくもの。学校での授業はもちろん、ご家庭での振り返り学習が大切です。

中央小では、稚内中学校と共同で「学習」「生活」の指標として『北地区ぐんぐんプラン』を作成し、昨年度から具体的な取組を始めてきました。その一つが、『家庭学習のすゝめ』通信と、家庭学習キャンペーンの取組です。

今後のためにあると良いと思う工夫は？

- ①友だちの取組を紹介してほしい
- ②お手本ノートに掲載してほしい
- ③取組の例を教えてください
- ④キャンペーンの回数を増やしてほしい
- ⑤漢字や計算の実力テストをやしてほしい



子どものやる気に

キャンペーン後に行った児童アンケートでは、今後の家庭学習の取組に向けて、左記のような意見が出ていました。「もっとよくなりたい」という気持ちをもっているところが、中央小の子どもたちのいいところですね。

寄り添いたい！

そこで、中央小では新学期からの新しい取組として、全学年各月の「家庭学習メニュー」を作成し、これをベースとして子どもたち一人一人に「自学の力」を育てることをめざしていこうと考えました。概要は以下の通りです。

今年度からの家庭学習



1. 家庭学習ノート、毎日交互に提出します。

- ▶お子さんは2冊のノートを、毎日交互に提出します。(はじめのノートは学校で用意。無くなったら各家庭で準備を。)
- ▶提出されたノートは担任が保管し、次の日の朝に返却します。

2. 放課後、先生がじっくり見ます。

- ▶お子さんの頑張りは毎日担任が確認し、ノートに月～木はサイン、金曜日にはコメントを記入します。
- ▶昨年まで家庭学習を見たりプリント準備をしたりしていた休み時間、お子さんと先生が、一緒に遊んだり語ったりする時間を増やします。

3. 宿題から、家庭学習になります。

- ▶じょじょに「与えられてやる学習」から「自分で決めてやる学習」へと進化させ、中学生になっても困らない「自学の力」を身に付けます。

【サインの意味】

- B (提示した文字練習と問題に取り組んだ)
- A (メニューからも取り組んだ)
- AA (自分なりの工夫を加えて取り組んだ)
- AAA(お手本ノートにしたレベルの取組です)

学校にいるうちに・・・

- ①学校の「学びタイム」の時間に、新しく学習する漢字を、家庭学習ノートに書きます。
- ②算数の授業で学習した問題を練習できるように、教科書のページをメモしておきます。

※1年生の家庭学習は、プリントから始めて徐々にノートに切りかえていきます。

家に帰ったら・・・

- ③新しくなった漢字の練習と、メモした算数教科書の問題をやります。
- ④漢字の筆順・部首、算数ノートに授業でやった答えと家庭学習でやった答えが同じか確かめて丸を付けます。(低学年は、お家の方に付けたもらうことも。)

さらにメニューで・・・

- ⑤毎月学年ごとに、その月(4週分)の国語・算数「家庭学習メニュー」を印刷して、各自のノートに貼ります。
- ⑥メニューを参考にしながら、漢字以外の学習にも取り組みます。

※メニューは名文暗唱・音読・日記・作図・百マス計算など様々に予定！

はじめはメニューを参考に、少しずつ自分の苦手なところ、もっと練習しておきたいところ、テスト前に確認してきたいところ、他の教科の学習など、自分に合った課題を自分で決めて、取り組んでいくことができるようにしていきたいと考えています。それが、中央小がめざす「自学の力」です。

中学校でも生きる「自学の力」に！



お子さんに「自学の力」がどんどん身に付いていくよう、保護者の皆様のご協力をお願いします。